実施報告書①

令和５年度青森県婚活イベント
モデル構築・普及業務

１０月7日(土)開催
恋愛傾向診断付き♪
AOMORI出会い応援イベント

マノーリ株式会社
恋愛・結婚プロデュースLINO

目次

01. イベント概要

02. 申込人数・参加人数・マッチング人数

03. アンケート集計結果

04. 記録写真

05. １か月後の交際状況報告
アフターサポートの状況

06. 広報活動内容

07. 業務実績と今後の課題

01. イベント概要

◆テーマ：ご縁を広げるフィーリング重視の出会い

日頃婚活サポートに取り入れている”恋愛診断メソッド”を使った婚活イベントを開催。
イベント第一部では、それぞれの恋愛傾向やベストマッチングなお相手の恋愛キャラクターを紹介。
お相手の外見や自分の感覚に　とらわれず、お相手を見極める方法をレクチャー。
第二部では各自の恋愛キャラクターを開示して１対１トークを実施。自分らしくいられるお相手とはどんなタイプなのかを体感。

◆参加対象：青森県内在住、在勤者で20代30代の独身の方

◆会　　場：第一部　青森県観光物産館アスパム
　　第二部　UGUISU（ウグイス）

◆開催日時：10月7日（土）第一部15:30～　第二部17:00～

◆参 加 費 ：￥2,500（男女同額）

◆所要時間：第一部　50分（恋愛傾向診断＆マッチング率を高める事前セミナー）
　　第二部 150分（１対１トーク５分×人数、軽食タイム20分×2回）

02. 申込人数・参加人数・マッチング人数

◆募集定員：男女各２０名

◆申込人数：男性２６人　（内　AIであう登録者 ７人）
　　女性２２人　（内　AIであう登録者 ４人）

⇒居住地：男性（青森市9人、弘前市2人、六ケ所村3人、大鰐町2人、十和田市、五所川原市、
鰺ヶ沢町、黒石市、平内町、野辺地町、東北町、三沢市、中泊町、六戸町各１人）
女性（青森市9人、八戸市3人、弘前市4人、十和田市2人、五戸町、藤崎町、黒石市、東北町各1人）

◆参加人数：男性１９人　（内　AIであう登録者４人）
　　女性１７人　（内　AIであう登録者 ２人）

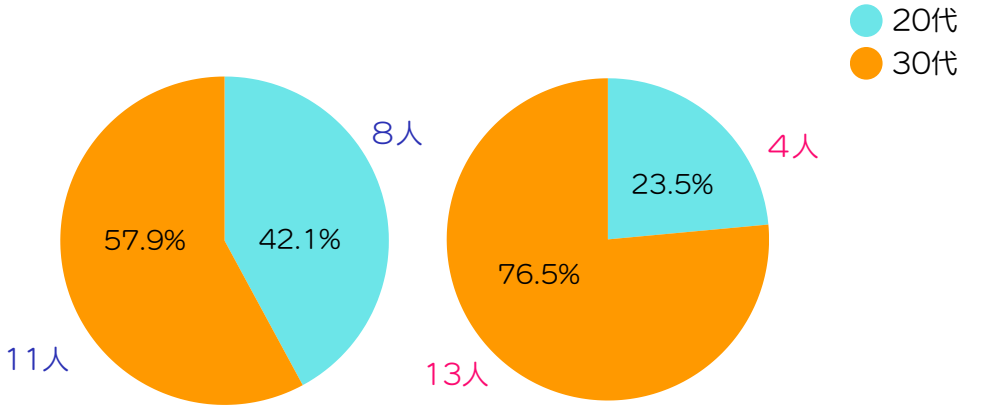
◆マッチング結果　６６％　（男性１２人、女性１２人）
※マッチング率＝誰か一人とでもマッチングできた人÷総参加人数

03. アンケート集計結果

①年代

男性
19件の回答

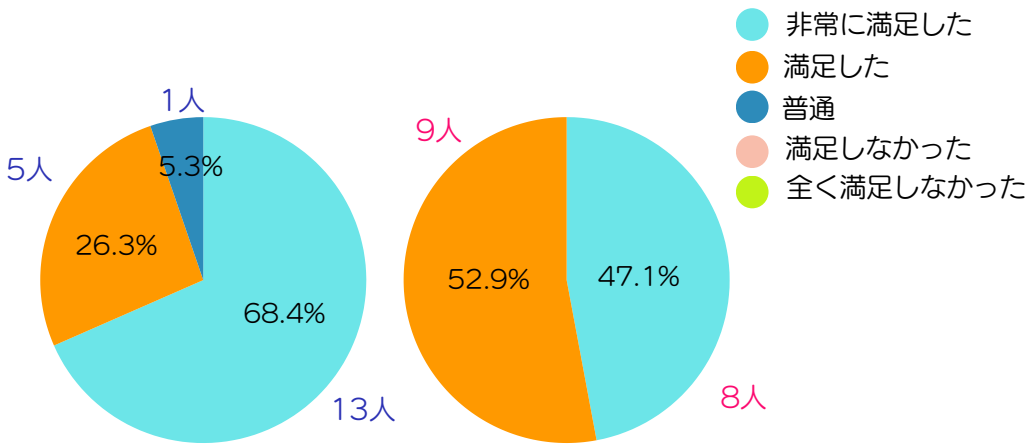
女性
17件の回答



②第一部の恋愛傾向診断＆セミナーはいかがでしたか

男性
19件の回答

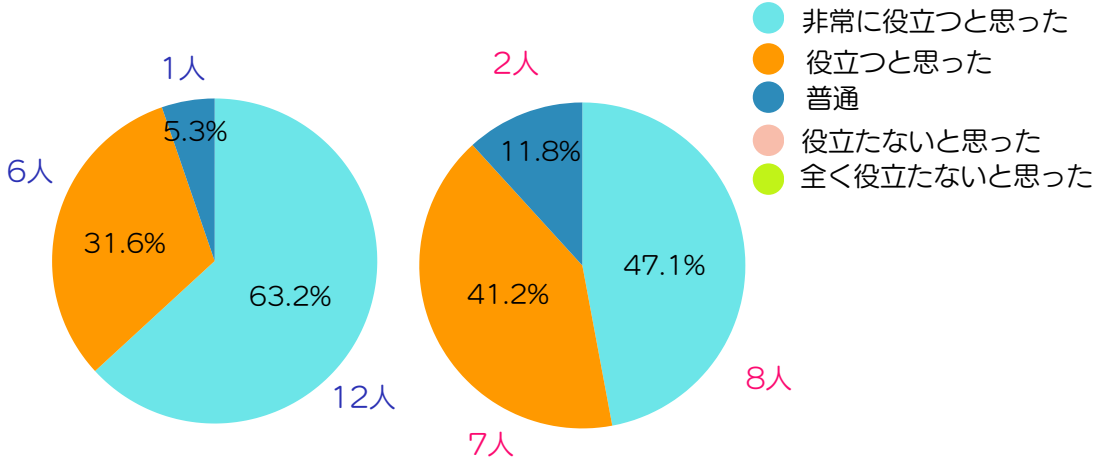
女性
17件の回答



③ご自身の婚活に役立つと思いましたか

男性
19件の回答

女性
17件の回答

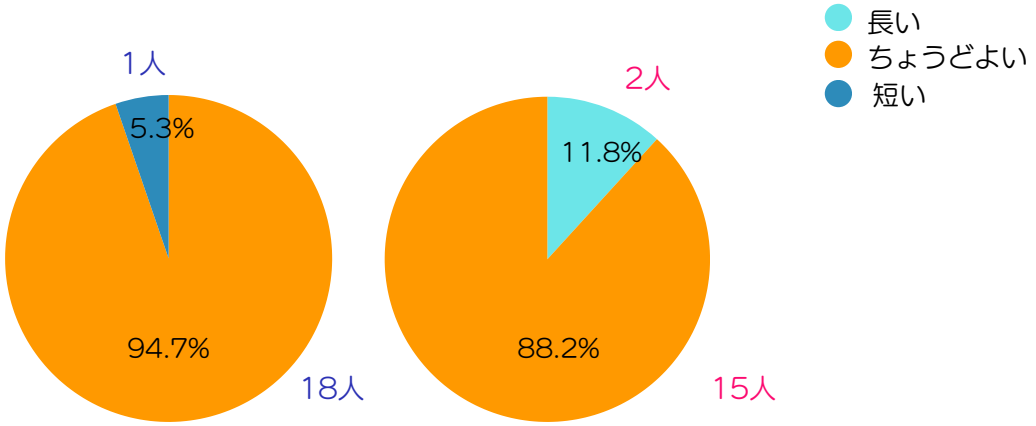


03. アンケート集計結果

④イベントの所要時間はいかがでしたか

男性
19件の回答

女性
17件の回答



④-2「長い」又は「短い」の回答した方へお伺いいたします。希望するイベントの所要時間を教えてください。

男性
1件の回答

女性
2件の回答

男性

・もっとゆっくり話せたら嬉しい。

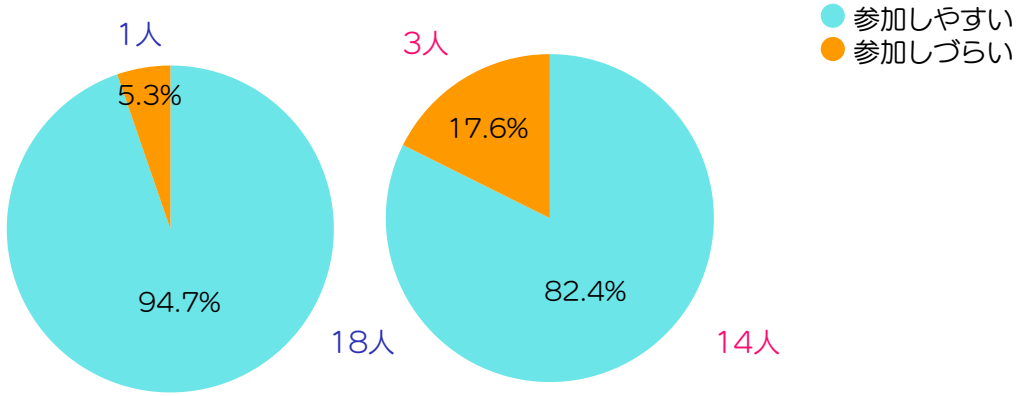
女性

・2時間
・もう少し早い時間からが良かった

⑤イベントの開催日時はいかがでしたか

男性
19件の回答

女性
17件の回答



⑤-2 参加しづらいと回答した方へお伺いいたします。参加しやすい曜日と時間帯を教えてください。

男性
1件の回答

女性
3件の回答

男性

・シフトで決めているもので、なかなか日程が決まらない。

女性

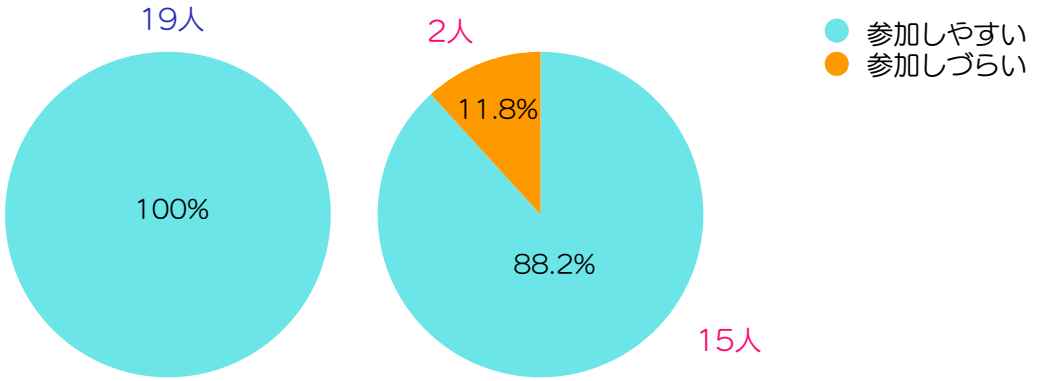
・勤務がシフト制のため、18時以降だと参加しやすいです。
・日曜日だと嬉しいです。
・日曜日の10時～15時

03. アンケート集計結果

⑥イベントの開催地域はいかがでしたか

男性
19件の回答

女性
17件の回答



⑥－２　参加しづらいと答えた方へお伺いいたします。参加しやすい地域を教えてください。

女性
2件の回答

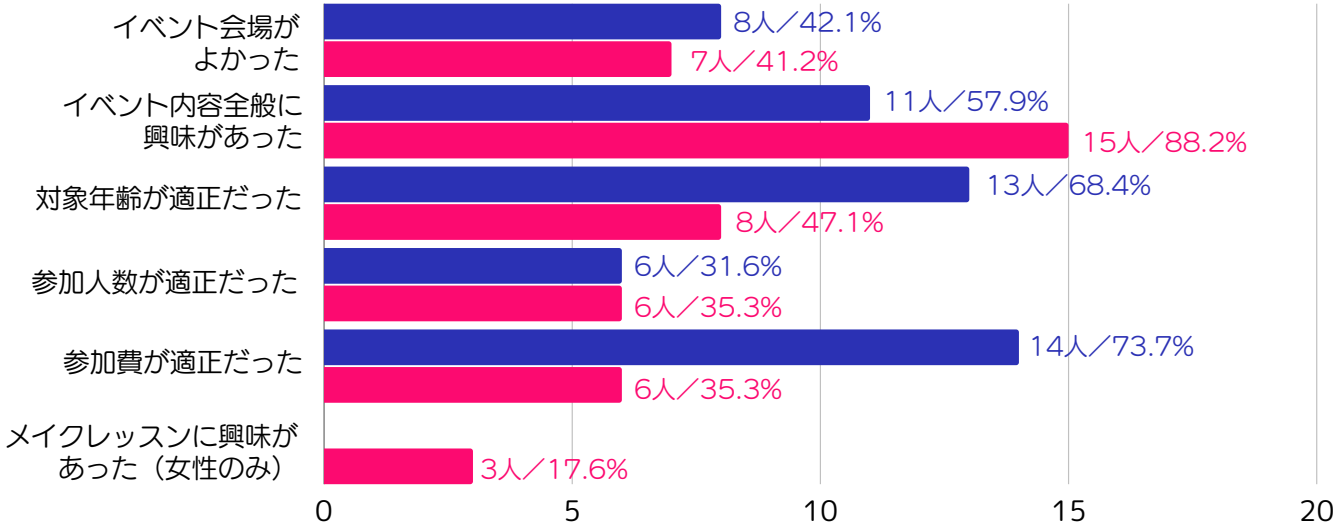
女性

・弘前市
・八戸市、十和田市、三沢市

⑦本イベントに参加しようと思った理由に当てはまるものをお答えください（複数回答可）

男性
52件の回答／19人

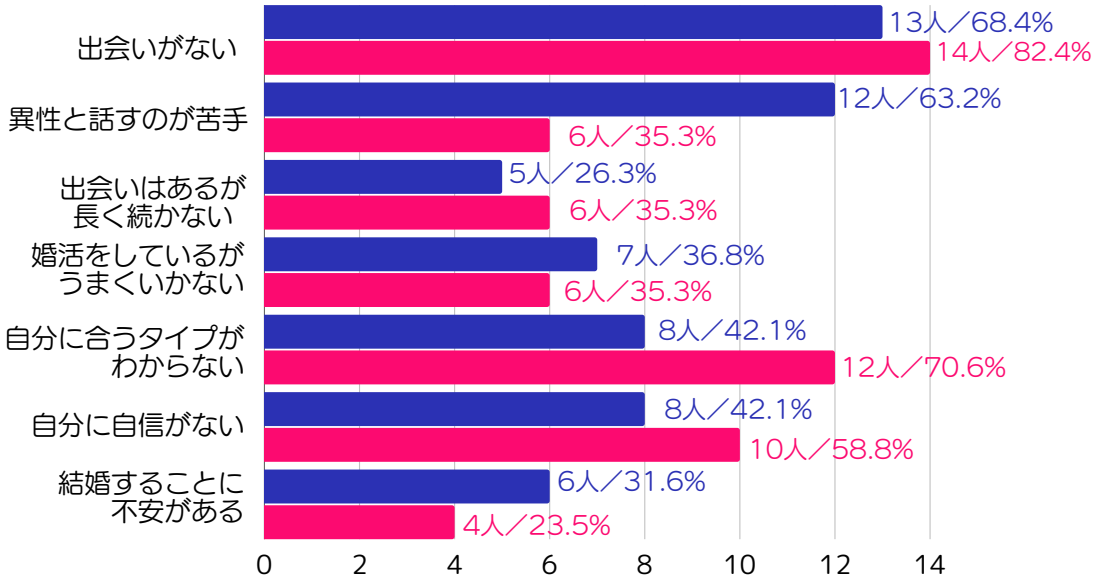
女性
45件の回答／17人



03. アンケート集計結果

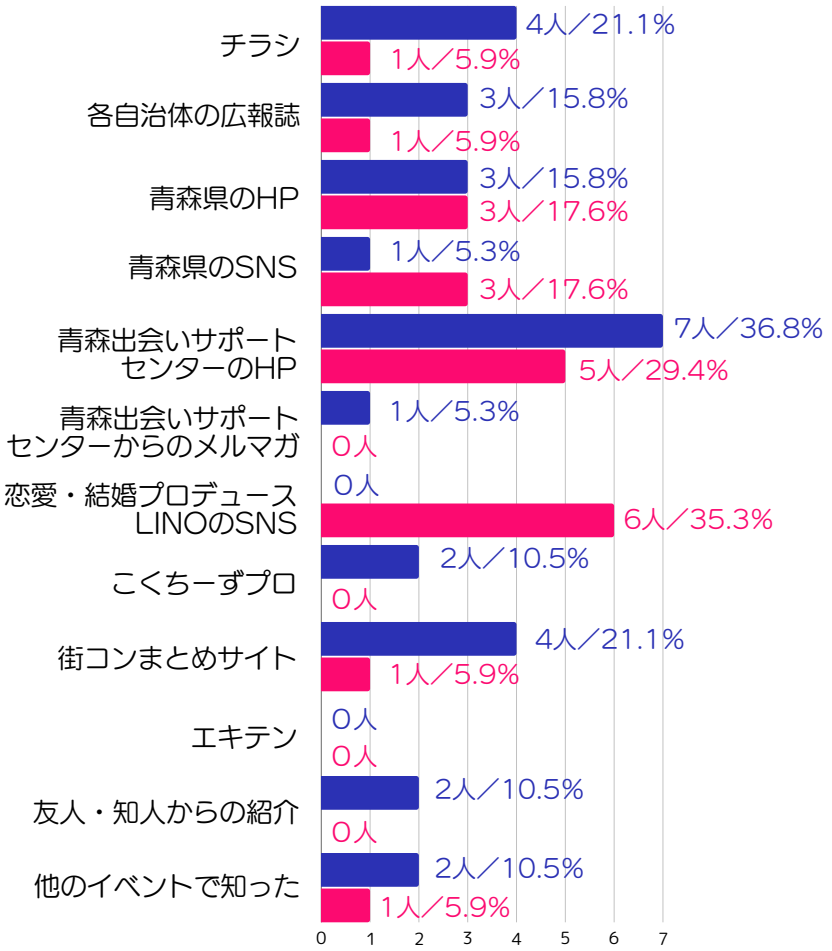
⑧恋愛・結婚・婚活についてのお悩みに当てはまるものをお答えください（複数回答可）

男性 59件の回答／19人　　女性 58件の回答／17人



⑨このイベントを何で知りましたか（複数回答可）

男性 29 件の回答／19人　　女性 21件の回答／17人



03. アンケート集計結果

⑩イベントの感想や今後希望する婚活支援についてお書きください

男性
9件の回答

女性
8件の回答

男性

【感想】

・有意義な時間でした。
・非常に、わかりやすかったです。今後に活かしたい。
・他の民間業者の街コンよりも募集人数が多く、その分いい人に出会える確率が上がるため、良かったと思う。
・婚活についての心構えや、自身についての把握をしてから交流する流れがよかった。
・出会いの場を設けていただき、ありがとうございました。

【今後希望する支援】

・20代限定の街コン
・月1回位のペースで実施して欲しいです。
・回数を増やしてもらえたら嬉しい。

女性

【感想】

・今回はありがとうございました。
・初めて参加しましたが、楽しかったです。
・自分の恋愛傾向が知れた後に出会いの場があったので、合う人の判断基準になって楽しかったです！
・こんなにたくさんの人と話すのは久しぶりだったので緊張しましたが、楽しかったしとても勉強になりました。
・一人一人と会話ができてとても充実しました。ありがとうございます。
・話しやすい雰囲気ですごく良かったです。また参加したいと思いました。
・自己分析ができ、話の種になって良かったです。
・メイク講座の時間がもう少し欲しかった。

04. 第一部の記録写真

恋愛傾向診断＆マッチング率を高める成功ノウハウを伝授

会場：青森県観光物産館アスパム

～男性会場～





～女性会場～





～メイクセミナー～





04. 第二部の記録写真

1対１トークで恋愛傾向を体感
会場：UGUISU（ウグイス）

～１対１トークの様子～









会場：UGUISU（ウグイス）

～軽食を食べながら交流タイム～







～最後の印象チェックタイム～





～アフターサポートのご案内～



05. 1ヶ月後の交際状況報告・アフターサポートの状況

◆1ヶ月後の交際状況（20人回答/24人中）

①仮交際・交際が続いている　7組

→・結婚を視野に入れて交際している　　1組

・恋人になりたいと思って交際している　　1組

・まだ友達としてのお付き合いをしている　5組

②連絡を取り合っている　6組

→・一度お会いしてその後まだ会う約束ができていない　2組

・忙しくて最近お会いできていない　1組

・少し連絡の頻度が減ってきてしまった　3組

他、連絡を取り合っていない

（理由）・年齢差を感じて、趣味や話が合わないと感じた

・LINEのやりとりで盛り上がらなくて、会いたいと思えなくなった

・女性側から連絡が来なくなった

【個別の相談内容について】

◆男性

・マッチングしたものの、どのように誘ったら良いのか分からない。

→まずは友達からという気持ちで、お茶やランチといった短時間でお会いできる内容で提案。短時間の設定だとお相手の女性も会いやすいと感じていただけるなど、次のデートに繋がる誘い方、交際の進め方をアドバイス。

・会話が苦手なので、イベントで使用していたトークカードを参考にしたい。

→いくつかトークカードの内容を提案。あまり質問攻めにならないように、話をするのが苦手なら話させ上手になるコツをアドバイス。

・彼女が欲しいと思いながら、自分は一人の方が楽と思ってしまうことに矛盾を感じている。

→一緒に居て居心地が良いと思えるお相手と出会えたら、自然と彼女として考えられるようになること。また、お互いの時間を尊重し合えるようなお相手を探すことで、一人の時間も大切にできるので、今後のお相手探しの参考にしてみることをアドバイス。

05. 1ヶ月後の交際状況報告・アフターサポートの状況

【個別の相談内容について】

◆女性

・**電話が苦手なので、今後のやりとりをどのようにしたら良いか。連絡を取り合うべきか迷う。**

→電話がストレスとなって交際を終了してしまってはもったいないし、電話が苦手な方は多いので重く考えすぎないこと。無理に電話で話そうとするのではなく、苦手なことを伝えたうえで、LINEやメールのやり取りから始めたいという気持ちを伝えることをアドバイス。

・**人柄が良くてお付き合いも検討しているところがだ、お相手が農家の方と知って先に進むか迷っている。**
母からは農家は苦労するからと言われて育った。

→お人柄が素敵なお相手ということであれば、すぐに結論を出すのではなく、今ご自身が抱えている不安を解消できるかどうか、お相手とお話し合いすることを提案。　　親御さんから反対されているという伝え方ではなく「農家の仕事についてよく知らないから教えて欲しい」「先の話だけれど、お嫁さんになる方もお手伝いは必要なのか？」、そして「自分は経験がないので不安」と伝えてみて、お相手のお返事や反応をもとに歩み寄れるかどうか考えるようアドバイス。

・**イベントにはたくさん出ているが自分に合う人と出会えない。**

→いろんな方とお会いする中で自分の中で”合う””合わない”の基準がどんどんクリアになるため、無駄な出会いは一つもないということ、また”合わないな”と感じられたポイントと合わせて、どんなタイプだと”自分と合う”と思うのかも一度書き留めてみることで、それが次に出会いの場に参加された時のお相手選びの参考にもなることをアドバイス。
婚活疲れの様子も見受けられましたが、これからも前向きに婚活をして進めていただけるようお伝えしました。

・**一歩先の関係に進みたいが恥ずかしくてアプローチできない。どうしたら良いか**

→ご自身が好意を持っていることを直接的な言葉でなくても伝える方法を具体的にアドバイス。また、男性側も自分のことをどう思ってくれているのか分からないと悩んでいるかもしれないので、こちらから「好意を持っている」というサインを出していくことの重要性もお伝えしました。

・**マッチングをしただけなのに、お相手からのアプローチが積極的で温度差を感じる。**

→男性脳・女性脳をもとに、男性は女性よりも気持ちが上がりやすく前のめりになりがちなことを伝え、まずはお友達から始めていきませんかと丁寧に気持ちを伝えることが大切とアドバイス。

06. 広報活動内容

◆チラシ配布先リスト

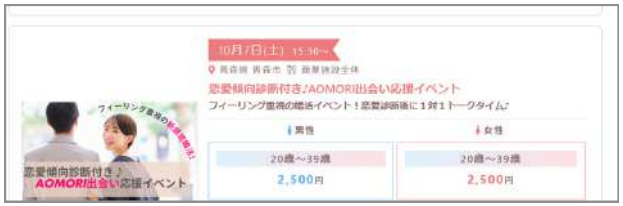
▷自治体40箇所
▷あおもり出会いサポートセンター様
▷六ケ所村産業協議会様
▷青森商工会議所様
▷青森県内企業様21箇所
▷青森県観光物産館アスパム様
▷ポーラ様
▷ジョブカフェあおもり様（青森、八戸、弘前、むつ）
▷ＵＧＵＩＳＵ様、ＣＯＦＦＥＥＭＡＮ　ｇｏｏｄ様
▷各自治体様の婚活イベント、婚活セミナーにてチラシ配布のご協力





◆イベント告知サイト掲載実績

【街コンまとめサイト】



【こくちーずプロ掲載】



◆SNS配信

【自社X（旧Twitter）】



【自社Instagram】



【note】



◆Facebookイベント告知ページへの掲載履歴

1【全国】交流会/イベント掲示板/ご縁/情報共有/地域情報
　　メンバー6,488人
2 セミナーやイベントの情報が欲しい人・告知したい
　　メンバー1.5万人
3 セミナー、イベント開催情報の告知
　　メンバー1,906人
4 東北応援！セミナー、イベント情報（山形、宮城、福島、秋田、岩手、青森）
　　メンバー580人

◆SNS広告実績







07. 業務実績と今後の課題

【業務実績】

・集客について
→これまでの県内のイベントにて、女性集客が苦戦している状況を踏まえ、女性目線で参加しやすさ、興味を持っていただける内容であることが重要と考え、弊社でも集客に実績のある恋愛傾向診断を取り入れたイベントを企画いたしました。アンケート結果からも、女性がイベントに参加しようと思ったきっかけとして「イベント内容に興味があったから」という回答が一番多く、ただの出会いの場だけでなく、何か今後自分の婚活に役立つ情報があるというところが参加したいきっかけの一つとなったと考えられます。また、募集についてはチラシよりもSNSを活用したFBやインスタ広告を配信し、特に女性が情報を得やすい方法であったことが効果として感じたところです。周知方法については、各自治体様にもご協力をいただき各地で開催の婚活イベント等でチラシ配布をしていただいたことで、県内各地からのお申込みに繋がっております。

・イベント全般について
→事前に男女共通の内容で恋愛傾向診断を行い、ネームにも診断結果を入れるなど工夫をしたことで１対１トークの時間は初対面同士でも会話が止まることなく、共通の話題で盛り上がる状況が見受けられました。トークテーマカードも準備したことで、参加者からは「話のネタがあって良かった」という感想もありました。参加人数が多いこと、またフリータイムで積極的に動けない方が多いことを踏まえて、フリータイムの時間を最小限にし１対１トークの時間を十分にとることを意識しました。全員としっかり話せたということで参加者の満足度にも繋がったと考えられます。

・マッチングについて
→１対１のカップル成立ではなく、マッチングした方とは全員と連絡先交換ができる、ご縁を広げるマッチングを実施しました。「カップル」や「交際」という表現をするとお相手選びのハードルが上がり、特に女性が回答しない状況が見受けられる為、あくまでイベントは出会いのきっかけであることを意識付けし、印象カードも良いところに目を向けてもらえるような工夫をしたことで、マッチング率６６％という結果となりました。

◆KPIの達成率
・参加人数４０人達成目標に対し、実績３６人　達成率９０％
・マッチング率６０％達成目標に対し、実績６６％　達成率110％

【今後の課題】

集客については、各自治体様のご協力も非常に大きかったと感じております。イベントに関する情報共有を密にし地域間での連携を強めることで、より未婚者がイベント情報を取得しやすくなると考えます。また今回青森市での開催にも関わらず、県内各地域から広く参加いただいたことを踏まえると、他県の状況と比較しても出会いのきっかけを幅広く求めている方が多いと感じております。自治体事業においては、募集要項に地域を限定せざるを得ないこともあるかと思いますが、対象を広げるまたは開催地域を変更するなどの検討も必要と思われます。

アフターサポートについては、サポートLINEの活用が９割で、相談したい時に気軽に相談できるツールとして活用いただきました。こちらも他県の事例に比べて活用が多く、相談できる場を求めている方が多いと感じましたので、イベントだけでなく日頃から支援できるツールも用意することで、成婚にも繋げていけるのではいかと考えます。